

みみタロウ

日本語版

72号

2008年10月

東近江市の街角に今年4月、サヤームギャラリー、またの名を多国籍ふれあいサロンがオープンしました。みみタロウは、ギャラリーを訪れ、主催者の塚本晃弘さん、サルチャーさんとお友達の後藤ラムヤイさんにお話を伺いました。



Siam Gallery パート1 外国人のための安心できる居場所作り

塚本サルチャーさん：

私は小さいときから日本のアニメが大好きで、タイの大学で日本語を勉強した後、留学生として滋賀県にやってきました。縁あって晃弘さんと知り合って結婚し、5歳と1歳の子どもがいます。日本での生活はタイとは色々違いますが、大切にしているタイの言葉に「水は器によっていろんな形に変わる」というものがあります。これは周りに自分を合わせることで生きやすくなるという教えです。ですから「この考え方は自分に合わない」で終わらず、相手の気持ちを理解しようとするのが大切だと思っています。そして日本人を本当に理解するには、その根っこの日本の文化や社会のことを学ぶことが必要だと思います。だから今たくさん本を読んで勉強しているんですよ。結婚の場合も、お互い理解しようとするのが大切で「私はタイ人だからこうでない」と相手を受け入れなければ関係がうまくいくわけはありません。ちなみにうちのおとうさんのタイ文化理解度は言葉も含め200%。タイ人以上にタイ人なんですよ。でも、ここにいるタイ人の中には、夫がタイ文化を全く理解しようとしなくて困っている奥さんもいます。それにタイでは大家族で子育てするので母親の負担は小さいのですが、日本では母親が一人で子育てをするので大変です。言葉がわからないだけでも不安ですし、特に子どもが病気になった時や書類を読んだりすることにとっても困ります。ここにはそんな仲間達が遠くからもやってきて、一緒に料理を作ったりご飯を食べたりしながらいろんなことをおしゃべりするんですよ。



塚本晃弘さん：

日本では子育てしていく上で色々厳しい状況があるように思えます。私たちのことをお話しすると、私たちは国際結婚をしているのでタイと日本のやり方を混ぜながら自分たちなりの子育てをすればいいと思っています。ところが周りから「日本にいるんだからこうしなければ」と言われることが多く、なかなか自分たちの子育てが理解してもらえない難しさがあります。例えば母親が病気になり、父親が子どもを職場に連れて行こうとすると、周りから「おかしいのでやめとけ」と言われることに。また、妻が何か仕事を始めたいと思っても、店を営んでいるという理由で周りから主婦業を強いられるようなこともあったりします。その他、日本人の本音と建て前は外国人には理解しがたい部分です。「いつでも遊びにいらっしやい」とさそわれて遊びに行くと、後から回り回って人づてに「あんな時間に来てもらったら困る」と言われ傷ついたことも。そんなことがある度に、僕は妻の味方に立つので周りとは喧嘩することになるのですが、その様子を見て本人がさらに傷つくことになります。このような状況の中で子どもを育てているうちに、サルチャーさんから日ごと笑顔が消えていきました。それで子どもが1歳半から4歳になるまで母子をタイに帰らせ、僕がタイに通うという生活をおくりました。しかし二人目の子どもが生まれた時、妻が一人目の時のようなつらい思いをしないで子育てできるようにしたいと思いました。きっとぼくらと同じような経験しているひとたくさんいるはず。そんな人達がお互いに経験を話し合ったり、ウィワイ楽しみながら助け合える環境があればいいのではないかと。そんな思いからこの場所を作りました。外国人の中には、日本社会にうまくなじめず戸惑っている人も多いと思いますが、そのような人々の拠り所になればと思っていますので、国籍を問わずどなたでも大歓迎です。

後藤ラムマイさん：

日本人と結婚し滋賀県にや
って来た25年前、周りにはま
だ外国人は一人もいませんで
した。日本の家にお嫁に入り、
言葉や習慣が違うだけでどうしてこんなにづらいん
だろうと思ったりした時期もありました。でも子どもが
幼稚園に入り他のお母さん方と一緒に過ごすよ
うになると、日本語を覚え、どんどん楽しく暮らせるよ
うになりました。そして子どもが小学校に行くよ
うになると、子どもと一緒に教科書で日本語を勉強
しました。子どもの教科書は日本語の書き順が書い
てあったりしてとても勉強にいいですね。最初は日本料理も全
くできなかったけれど、元々が人の料理好き。主人に教
えてもらったり、隣組の手伝いの時に覚えたり、自分
で味を研究したりして、今では梅干し(*注1)やフナ
寿司(*注2)を作ったりと日本料理が得意になり、日本
人に教えてあげるまでになりました。家には認知症の義
母と障害者の義姉がおり、長い間二人の介護をしていま
す。23歳、20歳と中学校3年の子どももおりと
ても忙しい毎日ですが、子ども達は家事や介護を手
伝ってくれるとても思いやりのある子に育ち、それが私
の幸せです。外国人が日本で子育てをするのは、言葉
や文化が異なる中確かに大変です。でも、子どもには、事
の善悪をしっかり教えないといけません。最近の日本
人の中には子どもの顔色を見ながら子育てをしている
人もいて、ちょっと気になってるんですよ。

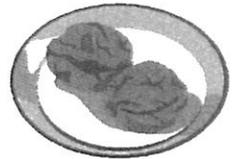
私は、私たち外国人も日本に住んでいるんだから
日本文化を知らないもったいないと思うんです。そ
して日本には古くからの伝統があるので、それに敬意
をはらわなければならないと思っています。日本でも「郷
に入れば郷に従え」と言いますが、こうした気持ちから
私はこれまで日本文化を学んできて、今ではすっかり
地域に溶け込んで近所の人たちからもとても優しく
してもらっています。時々自分が外国人ということを忘れ
ていることもあるくらいなんですよ！昔、何も出来
なくて心細かった時期もありましたが、色々頑張
っているうちにいろんなことができるようになりました。い
つも何かにチャレンジするのが好きで、今はタイの
野菜作りに夢中です。これまでつらいこともいろいろあ



りましたが、それを乗り越えてきたことで、自分自身の
心にゆとりが生まれ、更に多くを受け入れられるよ
うになったように思います。私たち夫婦も月日を経てお
互いが少しずつ変わること、以前にも増して理解し合
えるようになったように思います。私は「良い嫁にな
ろう、良い母親になろう」と決心して結婚しました。
充分できたのかどうか分かりませんが、一生懸命色々
なことを乗り越え生活を築いてきて幸せを感じていま
す。毎日介護の仕事があるので、まるっきり自分の時
間がとれるのは月に1日だけ。今日はその大切な1日。
タイ人の友達と語らって、もっと笑顔になりました。

(*注1) 梅干し

梅をシソと塩漬けにし、天日
に干した物。日本人は酸っぱ
い梅干しをご飯に添えて食べ
ます。病気の時にはおかゆに梅干しを添えるなど
日本人にとって欠かせない健康食品です。



(*注2) フナ寿司

1000年以上前から
続く滋賀県の特産品。びわ湖の
フナにごはんを入
れ、発酵させた
保存食品。チーズに似た癖のある味です。



～タイ文化に

触れてみよう！～

サヤームギャラリー

タイのインテリアの中でコーヒータイムは
いかが？ パーティーなどに自由に利用できる
キッチン付きサロン有り。(15人まで)

水・土 開館

入館無料

東近江市八日市金屋2丁目

TEL: 0748-20-5900